

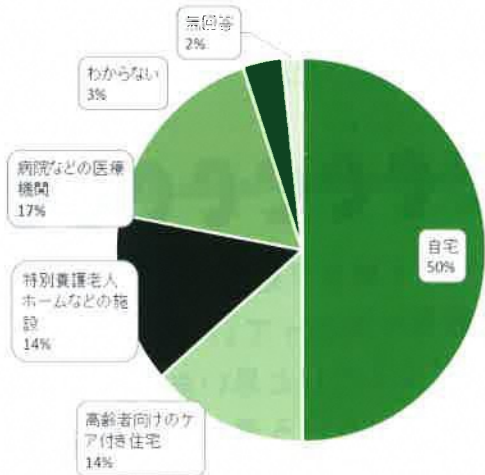
ケアネットせとうち通信

安心して暮らせる地域を目指して

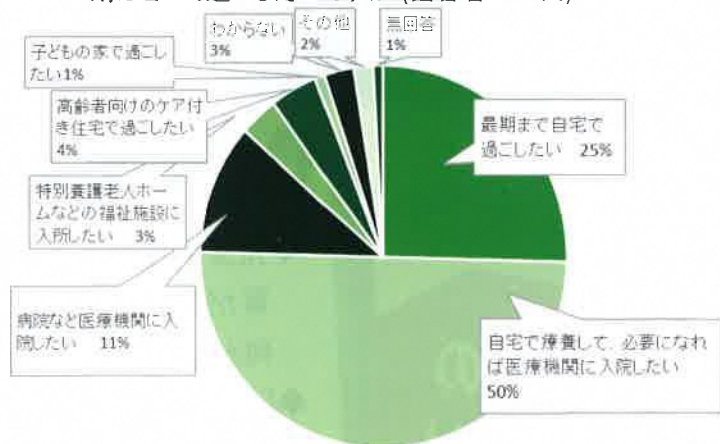
瀬戸内市地域包括支援センターとトータルサポートセンター準備室では、地域で行われている民生委員児童委員協議会定例会を巡っています。

この会では、昨年度実施した在宅医療・介護に関する意識調査結果の報告と、認知症サポーターミニ講座を行っています。

病気などで医療や介護が必要になった時、どこで療養したいですか (回答者:118人)



万一、病気などで人生の最期を迎える時がきた場合、最期はどこで過ごしたいですか (回答者:118人)



病気などで医療や介護が必要になった時、「自宅で療養したい」という人が瀬戸内市でも増えています。また、「最期の時を迎えるまで、できるだけ自宅や住み慣れた地域で暮らしたい」という人もおられます。認知症や在宅医療・介護について学び、それぞれの想いを実現できるよう、地域の支援やネットワークをみんなで充実させましょう!!

みなさんの生きがいや興味のあることは何ですか? 「笑顔で長生き」のコツを一緒に考えてみましょう!!



民生委員児童委員協議会定例会



身体が不自由になったり認知症になっても地域で暮らしたいな





在宅医療普及講演会を開催しました



【日時】平成27年11月21日（土）
13:30～15:00

【演題】家で死を迎えるのも、いいですよ

【講師】徳永進氏（野の花診療所 院長）



鳥取市「野の花診療所」でホスピスケアや在宅医療に取り組んでおられる徳永進先生をお迎えし、在宅医療普及講演会を開催しました。

家庭や地域の中で最期を迎える方々に、医師の立場で寄り添ってこられた経験をもとに「家で死を迎えること」についてお話いただきました。

約350名の地域のみなさんが来場され、徳永先生のあたたかいメッセージに元気をいただき、在宅医療について考える機会となりました。

来場者のみなさんより

- ◆先生の経験からの思いや考えを聴き「死ぬ力」という言葉が印象に残りました。最期に向かっている人に「今何がしたいのか」を聴ける人になりたいと思います。
- ◆「死を迎えることは怖くない」いろいろ選択肢があると聴き、家族で連携して生きていきたいと思いました。
- ◆自分の死に方について考えさせられました。
- ◆在宅の良さに気づきました。最期まで意志を持って生きることが大切だと感じます。
- ◆施設で働いていますが、施設でも在宅と同じように過ごせる方法を考えたいです。



<ケアネットせとうち事務局>

瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター準備室

〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 862-1 (瀬戸内市総合福祉センター内)

電話：0869-22-3800 FAX: 0869-22-3801